

法親寺新聞

2013年
手書き新聞 No.7



こんにちは。釋紗音です。
皆様は、浄土真宗とはどのようなものだと思いますか？
私達は生まれると同時に死んでいかなければなら
ない平等の心涵みを持っています。
しかし、命が終われば必ず極楽浄土に往生し、
そこで俱会一処(ひとつの処で再会すること)の喜び
に合うことができます。そのことを教えて下さっている
のが、親鸞聖人であり、浄土真宗の教えです。
浄土真宗は、聴聞をととても大切にしています。
仏法に触れ、聴聞を重ねる事で、浄土に往生する
ことを確信でき、安心して人生を送れるのです。

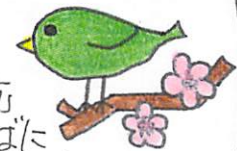
さて今回は、私たちの日常で使われている仏教用語の中でも
良く間違っているものをあげてみました。

他力本願... 一般的に『自分は何もせず、他人まかせ』と
いう意味で使われる事が多いです。しかし、本来「他力」とは
他人の力ではありません。親鸞聖人は「教行信証」に
『他力といふは如来の本願力なり』と明示しておられます。
迷いの世界にいる自分ではどうする事もできない私達を必ず
救うという阿彌陀如来の慈悲が強い願いのはたらきで
あり、『他力本願』なのです。

往生浄土... 「往生」は、一般的に「病気で往生した」など困った
意味で使われていますが、それは「往生=死ぬ」と考えられているから
ではないでしょうか。『往生というのは浄土にうまるというなり』
という七高僧の一人善導大師のお言葉のとおり、往生とは浄土に
仏として永遠の命を授かって生まれていくことなのです。お念仏に
出逢えた私達は阿彌陀仏のご本願によって清浄の浄土に
生まれる事が出来るのですから、私にとっての救いに「他」なりません。

往職の法話

季節は春になり随分暖かくなってきましたね。お寺の近くの山では、
もう時々ウグイスが鳴いています。ふん前雑誌に「ウグイスの仕込み方」
という記事がありました。ウグイスを仕込むには、ひな鳥を良いウグイスのそばに
おいておく事です。すると、ホーホケキョ、良いウグイス即ちウグイスの先生が美しい声で
鳴きます。するとひな鳥は、まるで酔ったように先生の声に聞きおられます。幾日も幾日も
黙って聞いています。そのうち自分もそといな声で「ホーホケキョ」とやってみる。しかし始めは、
「ホ」だけであったり、「ホホ」だけであったりする。それを幾日も幾日も繰り返していくうちにやがて
一人前に「ホーホケキョ」と鳴くことが出来るのです。とうとう面白いことに、結局ひな鳥はウグイスほど早く
先生のまねを始めるし、また出来るし、いよいよ一人前のように歌いだすのです。反対に良い
ウグイスは幾日も幾日も黙って聞いているそうです。そして最後に歌いだすのです。「ホーホケキョ」と
とてつとてウグイスほど美しい声の、良いウグイスになるそうです。私達人間も同じです。
知識のないものほど聞いたがる。知らないものほど失礼なことをする。仏さまの話を静かに
聴聞させていただき、美しく輝く人生を過ごさせていただけましょう。



テニスに興味の門徒
市村さんからこんな質問
をいただきました。



Q... お仏壇の中で位牌(過去帳)
の位置より上段に供弔(くげ)供物
仏飯がありますが、阿彌陀様に
供えるだけではなく、故人にも
供えたいのですが.....

A

... 阿彌陀様へのお供えは、阿彌陀様の建立
された浄土に往生し、仏となっておられる故人へのお供
えでもあります。お供えは故人が食べ物を欲している
からではなく、私達の阿彌陀様に対する感謝と敬い
の現れであり、浄土で仏となっておられる故人への報恩
感謝の気持ちでもあります。

お知らせ

お盆の法座ご案内

- 日時● 平成25年7月13日(土) 午後1時より
- 場所● 法親寺本堂
- 講師● 佐々木大観師(本願寺派布教使 西願寺住職)

(兵庫県宍粟市)